国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和8年 10 月 30 日
東北地方整備局

発災時の迅速な初動体制の確立に向けて
～「屋上ヘリポートからのヘリ搭乗訓練」を実施します～

東北地方整備局では、大規模地震・津波の発生により道路交通が寸断された状況を想定し、仙台合同庁舎 B 棟の屋上ヘリポートにおいて、ヘリコプターによる被災状況調査及び要人輸送のためのヘリ搭乗訓練を実施します。

本訓練は、災害発生時における被災状況の迅速な収集・伝達及び要人の迅速かつ安全な輸送体制を確認することにより、広域的な災害対応能力の向上を図ることを目的としています。

1. 訓練概要
   1）訓練日時　：　令和8年11月4日（水） 13:00～15:00
   2）実施場所　：　東北地方整備局　屋上ヘリポート（仙台合同庁舎 B 棟17階）
   　　災害対策室（仙台合同庁舎 B 棟12階）
   3）参加予定機関　：　東北地方整備局
   4）当日の流れ　：　別紙①のとおり

2. 取材について
   1）お申し込みは、別紙②「取材申込書」に御記入の上、11 月 2 日（月）15 時までに電子メールでお送りください。
   2）取材希望の方は、別紙③「取材時の注意事項」を必ず御確認の上、お申し込みください。
   3）当日は、12時30分までに「12階　災害対策室」へお集まりください。
   4）12時30分から屋上での注意事項について説明を行います。必ず時間までにお集まりください。説明を受けていない方は屋上での取材はできません。
   5）屋上での撮影は可能ですが、安全確保のため指定エリア内に限らせていただきます。
   6）駐車場の用意はありませんのでご了承ください。
   7）当日の気象条件等により、訓練を中止又は延期する場合は、お申し込みをされた方に対し電子メールにて11月4日（水）10時までに連絡させて頂きます

＜発表記者会＞
青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　防災室
宮城県仙台市青葉区本町3－3－1　仙台合同庁舎B棟　TEL:022－225－2171（代表）
防災室長　小嶋　光康（こじま　みつやす）　（内線2151）
防災室　課長補佐　高橋　龍磨（たかはし　りゅうま）　（内線2154）

別紙①

「当日の流れ」

12:30	12階　災害対策室　集合
12:30－12:40	事前説明
12:40	移動
13:00	ヘリポート待機
13:15	ヘリコプター着陸
13:15－13:20	職員乗機　→　ヘリコプター離陸
13:20－13:30	ヘリポート見学
13:30	移動
13:30－14:00	災害対策室　見学　→　解散

※着陸も取材される場合

14:10	移動
14:20	ヘリポート待機
14:40	ヘリコプター着陸
14:40－14:45	職員降機　→　ヘリコプター離陸
14:45－15:00	ヘリポート見学　→　解散





別紙②「取材申込書」

「屋上ヘリポート離発着訓練」取材申込書

1.貴　社　名 ： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. 取材者人数 ： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 名

3 氏名(ふりがな) ： ①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

4 代表者の連絡先　携 帯 電 話 ： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※当日に連絡が取れる番号

メールアドレス ： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項の確認】

□ 別紙③「取材時の注意事項」を確認し、内容を了承の上、遵守します。

申込期限:令和 8 年 11 月 2 日(月)15:00

申込先 :tamura-n82ac@mlit.go.jp

※取材申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用いたしません。

別紙③「取材時の注意事項」

ヘリコプターの離発着時、非常に強い吹下しの風（ダウンウォッシュ）が発生します。

- 屋上での撮影は、安全確保のため指定エリア内に限らせていただきます。
- 帽子、メモ用紙、バインダーなど、飛ばされやすい物の持ち込みは原則禁止させて頂きます。
- ダウンウォッシュは、人が立っていられず転倒するほどの強さです。カメラ・三脚等の機材が吹き飛ばされるおそれがありますので、確実に保持できるものをお持ち下さい。
- ほこり等が強い勢いで飛散するため、レンズ等にキズが付く可能性がありますので、事前にご対応ください。
- 離発着時は、撮影以外の方は姿勢を低くし、指示があるまで移動しないでください。
- 係員の指示に従っていただけない場合や、安全上支障があると判断した場合は、撮影の中止や屋上からの退去をお願いすることがあります。あらかじめ御了承ください。
- 撮影場所の床面はグレーチング（格子状の金属板）となっており、足元から地上17 階下が透けて見えます。高所が苦手な方や、高所で体調に不安のある方は、取材を御遠慮ください。
- かかとの細いヒール等は格子に挟まり危険です。歩きやすく滑りにくい靴でお越しください。